

ものでした。この道路については、平成29年3月には開通する筈です。
 道づくり課の用地交渉に当たっては、私が22歳から在籍する消防団の人脈が大変役に立ち助けて頂きました。消防団は地元で貢献し信用がある方が多いので、その人から情報を得たり、その人の名前を出すだけで直ぐに信用してもらえることが多くあり助かりました。もちろん、斉藤前団長の名前も頻繁に出させて頂きました。
 8番目の課は教育施設課で1年間と短いものでしたが、平成23年の大震災後という事で校舎の耐震化、校庭の放射能除去と問題は山積みでした。
 9番目の課は環境計画課施設担当室で古巣への人事でした。ここで担当したのは、千駄堀ゴミ埋立跡地にあった、ある会社の資材置場の移転問題でした。それまで20年間解決できなかった問題でしたが、21世紀の森と広場の公園用地の買収の時から関わりをもっていたので自分がやらなければとの強い思いがあり何とか解決することができました。もう1点は千駄堀ゴミ埋立地の借地料の値下げ問題でした。この地区は顔なじみの方が多く信頼関係から納得して頂き、交渉を成立する事ができました。
 最後の課は資源リサイクルセンターで、ここは環境業務課時代に同センターの竣工に携った事もあり、これも故郷人事なのかもしれません。このリサイクルセンターは、松飛台の分かりづらい所にあり、市民からの問い合わせには大変苦慮しました。この時に石井会員が社長を務める石建商事さんの緑の壁を目印にさせて頂きました。大変助かりました、石井さんありがとうございました。
 資源リサイクルセンターには、一度も使用されていないスポーツ器具や食器なども持ち込まれて来ます。環境行政の中では「生かせば資源、捨てればゴミ」という標語を市民にアピールして来ましたが本当にもったいない事です。ゴミを減らすためにも物を大切にしたいものです。
 以上が私の役所における履歴ですが、右も左も分からない生意気な若造が何とか42年間地方公務員として全うできたのは、多くの理解ある上司や仲間がいたからだに感謝しています。私にとって松戸市役所は、大学であり人生を踏み外さずに生かさせてくれた修行の道場だったと考えています。長くなりましたがご清聴ありがとうございました。

< 4月諸事お祝い：出席・親睦活動委員会：小林辰幸委員長 >



会員誕生日&結婚記念日

瀬上啓太会員 4月28日



< ニコニコ委員会：並木幸雄委員 >

■ 瀬上啓太会員：誕生日、結婚記念日のお祝いありがとうございます。
 同じ日にしたおかげで忘れずに祝う事が出来ます。
 今後も夫婦仲良く頑張る予定です。



国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



世界へのプレゼントになろう

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2102回 例会 2016年4月12日(火)

- 国際ロータリー会長 K.R. ラビンドラン
- 第2790地区ガバナー 櫻木英一郎
- 第12分区ガバナー補佐 杉浦 昌則
- 松戸北ロータリークラブ会長 小澤 盛明
- 松戸北ロータリークラブ幹事 高崎 卓哉
- 例会日 - 毎週火曜日12:30より (第1例会18:30)
- 例会場 - 松戸市根木内117-1「一幸・松戸根木内店」
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101
- TEL/FAX - 047-711-5950 / 047-711-5910
- Web/Mail - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

<第2102回：例会プログラム>

12:30 点鐘	ロータリーソング斉唱 【♪我等の生業】	小澤盛明会長
12:33	お客様紹介	森谷充伯会長エレクト
12:35	会食	
13:00	例会再開 会長挨拶・報告 幹事報告	小澤盛明会長 高崎卓哉幹事
13:05	会員卓話 「私の履歴」	大塚精一会員
13:25	【委員会報告】 ■社会奉仕委員会 ■ニコニコ委員会	社会奉仕基金発表 本日のニコニコ発表
13:30 点鐘		小澤盛明会長



<会長挨拶・報告：小澤盛明会長>

皆さん こんにちは

まずは報告事項です。今月29日の地区研修協議会ですが、地区より連絡があり当日15から20名の参加をお願いしますとの事でしたが、当クラブとしては、例会としておりますので一人でも多くの方に参加頂ければと思います。また第1回目の打ち合わせが14日に有りますので詳細は、その時にわかると思います。わかり次第改めて連絡したいと思いますので宜しくお願いいたします。



さて本日4月12日は世界宇宙飛行の日です。1961年（昭和36年）のこの日、世界初の有人宇宙衛星船・ソ連のポストーク1号が打ち上げに成功し搭乗したガガーリン少佐は、宇宙から地球を見た時の感想を「地球は青かった」と表現し、流行語になりました。私はこの年に生まれまだ3ヶ月の乳飲み子だったので記憶にはありませんが。

カガーリンの言葉として日本においてのみ有名な「地球は青かった」は、『地球という惑星が青かった』といったのではなく、弧を描く地球を薄く覆っている大気のことであり人類として初めて大気圏の外から見るようになった宇宙空間との境目の大気の層が青く見えたことを語っていたようです。直訳だと「空は非常に暗く、地球は青みがかっていた」らしいです。

では、どうして大気が青く見えるのでしょうか？太陽光には、おおまかに7色の光が入っているのは、ご存じだと思いますが、地球の大気には、波長の短い光をより多く散乱させる性質があります。この散乱のことをレイリー散乱と言います。太陽光の中から、この波長の短い光を多めに散乱させるために青く見えます。空が青いのも、この散乱した青っぽく見える光を見ているからです。大気がなければ、空は黒く見えます。また夕日が赤っぽいの、大気による波長の短い光をより多く散乱することによって、虹色が混じった光である太陽光から青や紫が多めに除かれるために赤っぽい光に変わってゆきます。

太陽高度が高いときは、大気層を通過する距離が短いために散乱が少ないのですが、太陽高度が低くなると、大気層を通過する距離が長くなるために、レーリー散乱がより多く起こり、赤っぽく光に変わってゆきます。ですから、夕日が赤いのと、空が青いのと、宇宙から見ると地球が青いのは同じ原因によって起こっています。

報道時の訳し方次第で、大分ニュアンスが違うことがうかがえます。間違えでは無いのですが、言葉の難しさを改めて痛感します。皆さんも言葉選びは、慎重にしましょう。

<幹事報告：高崎卓哉幹事>

- ◆ガバナー事務所より台南大地震への義捐金の報告とお礼が届いています。地区内より総額1,553,808円の義捐金が集まり、4月8日送金いたしました。ご協力ありがとうございました。
- ◆松戸東ロータリークラブ
平成28年5月6日は定款第6条第1節により休会といたします。



<会員卓話：大塚精一会員>

私の履歴

昭和47年4月、高校を卒業して直ぐに松戸市に就職しあれから44年が過ぎました。

市役所の仕事を振り返ってみますと、初めて配属された課が固定資産税課でした。ここで登記簿謄本と戸籍謄本の読み方を覚えました。これが長い役所生活の中で大変役たちました。また、手ほどきをしてくれた先輩のお陰で酒を覚えました。それから、この課に在籍中に組合活動に参加し職場委員会において最年少で議長をした事を思い出します。

2番目の課が環境業務課でゴミの5分別収集に携わりました、これが今日の環境行政の礎になったと自負しております。また、この時代はゴミを制するものは天下を制すると言われ、優秀な人材が集まり、私は課長職で終わりましたが当時の私の部下は5人も部長職に付いています。

3番目の課はすぐやる課で、毎日土木作業と夏は蛇や蜂の捕獲に汗を流しました。すぐやる課は皆さん良くご存知の松本清市長が作りしました。松本清市長は色々なアイデア、例えば市道の一斉舗装や住民票の出前係などを発案していますが、その中で、すぐやる課が一番すぐれたものであったと私は考えます。「すぐにやり得るもので、すぐやらなければならないものはすぐにやります。」をスローガンに、役人の「休まず、遅れず、働かず」の三無主義に風穴を空けることが、松本清市長が考えた目的の一つだったのではないのでしょうか。また、私の経験した役所の仕事で一番楽しかったところです。

4番目の課は総合公園建設事務所で、21世紀の森と広場の公園用地の買収と借地契約そして地積更正登記が私の仕事でした。この公園の面積は15万坪、50ヘクタールを要し、八柱霊園の約2分の1の大きさを誇ります。平成5年に開園をしておりますが、開園前3ヶ月位はその準備で土日に関係なく夜の12時位まで仕事があり給料が通常の月の2倍位になった事を思い出します。

5番目の課は管財課で車両の仕事をしました。職員の車両事故の後始末が厄介な仕事でした。

6番目の課は環境施設課です。ここで一番がんばった仕事は千駄堀ゴミ埋立地の地積更正登記で約1年間この仕事だけに没頭しました。この仕事のお陰で千駄堀地区の多くの皆さんには今でも名前を覚えてもらっています。また、この時に市の職員は職権で登記申請をすることができる事から、土地の地目変更、一番難しいと言われている相続登記などもできるようになりました。ただし、司法書士の資格はありませんので役所を離れた今は自分が関係する本人申請しかできません。

7番目の課は道づくり課です。最初に私が担当したのは葛飾市川線・松戸2中から市川へ抜ける道で予算もたくさんあり2年間で多くの用地買収を成立させる事ができました。この中には20年近く解決できなかった案件も数件あります。後の3年間は八ヶ崎の3・3・6号線ホームセンターマツモトキヨシの処の買収で件数はそれ程ありませんでしたが、中身の濃い

